



福島医大ふくしま子ども・
女性医療支援センター教授

高橋 俊文氏

今回は不妊症の検査についてお話しします。不妊症はとかく女性が原因と考えられがちですが、男女ともに不妊原因が認められるカップルの割合は約40%です。男女ともに検査を開始することが必要です。

障害があった場合は精液に異常が起る可能性があります。また、性交障害がある場合には、糖尿病が原因のこともありま

すので、産婦人科受診と

子、卵巣予備能の低下などがあ

ルモン検査があります。月経が毎月順調にある方は排卵していることがほとんどです。月経周期(月経と月経の間隔)が三十

男女ともに検査必要

同時に内科での検査が必要

女性の場合、男性と比べて多くの検査を受ける必要

が、始めに行う検査は限られています。女性の不妊症の原因

の検査はいずれも一般の産婦人科診療所や病院で受けることが可能です。

男性の場合、精液検査が行われます。もし一回の精液検査で異常があっても、すぐに不妊原因とは限りません。複数回の検査後に正常、異常の有無を判定します。睾丸(精

巣)で精子が作られる期間

は、卵管因子、排卵因子、子宮因子(子宮筋腫、子宮腺筋症)、子宮内膜症、子宮頸管(けいかん)因

子、卵管の通過性を見る検査です。検査後に自然妊娠することも多いので、ぜひ受けられることをお勧めします。

排卵因子の検査にはホルモン検査があります。月経が毎月順調にある方は排卵していることがほとんどです。月経周期(月経と月経の間隔)が三十



子宮卵管造影検査(正常)

不妊症(下)

次回7月16日掲載